

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2974800126		
法人名	株式会社 ハートフルラスト		
事業所名	グループホーム かつらぎの里		
所在地	奈良県葛城市林堂225-5		
自己評価作成日	平成22年7月12日	評価結果市町村受理日	平成22年8月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>家庭的な環境の中で、その人らしい自立した生活が送れるよう、適切な援助とケアを行います。思いの背景を汲み、本人の意思を尊重します。地域に根ざし、地域に暮らす人々と共に、楽しく安らぎのある生活を支援します。</p>
--

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kohyo-nara.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会		
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内		
訪問調査日	平成22年7月23日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>当ホームは、「つつじ」で有名な葛城山の麓の田園風景広がる住宅地の中に新設・開所されました。玄関前は芝生の植えられた広い庭があり、また、ホーム内は室温や採光に工夫された共用空間が確保され、穏やかに過ごせる場所となっています。入居者は、このような環境の中で、それぞれの能力を活かしながら自分のリズムで生活されています。職員も個の尊厳を大切にされ、一人ひとりに合わせた支援に努められています。</p>
--

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者が家庭にいる時と変わらない環境で家族や近隣の人々と話す時のように気軽に接してもらえるよう心がける	尊厳の保持と地域住民との交流重視を基本とする理念があり、ホーム内への理念の掲出や定例会議で話し合いがなされ、実践に活かす取り組み・共有化に努められています。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自)積極的ではないが、出来るだけオープンな付き合いを心がけている 実)町内を散歩し、挨拶を交わす。地域の人達と共に花、野菜作りをしている。地区の行事に参加。運営委員会に招致しホームの中も見ただく等のことを行っている。	地域社会の一員と認識され、自治会への加入はもとより、地域行事や清掃活動等にも参加し、地域との交流に広がりが見られます。また、自家菜園への作業指導を受けたり、ホーム見学会の開催等による住民との交流に努められています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自)もっと前向きな取り組みをすべきかもしれないが地域性から介護保険を使う介護を受けるということが地域の人々に浸透していない 実)電話での問い合わせ、直接訪問して来られた方への相談にのっている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実)地域の人と手作り工作をしたりボランティアの方々がフラダンスを踊りに来てくれる。散歩の時ゴミ拾いをしながら歩き、近隣の方々とコミュニケーションをとっている。	幅広いメンバーで構成された運営推進会議が設置され、定期的で開催し、ホームへの期待や運営上の諸課題等について話し合われています。	会議の内容が、やや定型的になっていると思料いたしますので、会議がより効果的に機能させるための工夫を期待します。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	自)相談や連絡が密に行えていて、ホームの実情を把握していただいていると思っている 実)相談、連絡、指導等有り	運営上の諸課題や入居者ケアのあり方等について随時行政を訪問し、相談・連携の強化に努められています。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	自)生命の危険を第一に考え、行動している 実)危険回避を別にして拘束をしないように取り組んでいる	身体拘束による弊害を正しく認識され、しっかりした見守りでのケアを実践されています。なお、毎月のケア会議でも話し合いがなされています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	自)ホームでは虐待の事実はなく、家人にも理解が得られる 実)不慮の怪我についてもヒヤリハット等参考にし、会議の場で対応策を話し合ったり職員同士が互いの行動を観察し報告する等、見逃しがないように努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自)理解は出来ていると思われる 実)勉強会等話し合える機会を持ち、研修会資料や、出版物の貸し出し、提供を行っている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	自)納得が得られるよう十分な説明を行っている 実)不安や疑問点についても都度説明理解が得られるよう対処している		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	自)反映させるよう努めている 実)アセスメント、アンケートを定期的を実施し、意見、意向としてプラン、処遇に反映させている	家族の訪問時での希望・意見等の聞き取りや定期的な返信用封筒の同封でのアンケートの実施による要望等が聴取され、出された意見等を記録し、運営に反映させる取り組みがなされています。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	自)意見や提案を聞く機会はあるが、反映するか否かは内容を吟味してから 実)出来ることから反映させている(業務内容についての改善策など)	定例会議で、運営上の課題等について議論・検討する機会が確保されており、提起された課題を検証し、必要に応じて対応されています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自)努力している 実)就業の条件を考慮したり、資格取得の推奨をしている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自)行っている 実)実施内外の勉強会や研修会に参加できるよう情報提供や機会の確保をしている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	自)行っている 実)同業者を訪問、交流し、意見交換等の提案は受理している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	自)努力している 実)面接、アセスメント、利用者と家族の意向を伺う。今までの暮らしの様子を伺い利用者との接点を見つけたり共感している姿勢を示したりしている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	自)努力している 実)相談を受ける。面談をする。困っておられたことを受け止める。出来ないことははっきりいう。努力する姿勢を見せる		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	自)努力している 実)相談があった段階で何が原因で何が必要なかを分析し、ご家族と相談した結果入居することで問題解決となるのかどうか話し合っていく。場合によっては他を勧める		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自)努力している 実)一緒に作業していく中で教えてもらうこと助けてあげること、同じ話題で楽しく会話でき、笑えることを目標にひび接している		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	自)努力している 実)生活状況の報告、相談、家族の思いも聞き、当事者の一員であってもらえるよう働きかけをしている		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自)努力している 実)馴染みの場所への外出、お付き合いのあった方の来訪を自由にしていただいている	馴染みの美容院への送迎や買い物への同行等により、一人ひとりの生活習慣を尊重しながら安定した生活への支援が図られています。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自)努力している 実)得手不得手、好き嫌いを含利用者一人ひとりがホームの一員であるという姿勢でケアに取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	自)努力している 実)退所されても相談を受ければ支援に努められるようにしている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自)努力している 実)定期的にあセスメントを行う。ご家族にアンケートをとる。日頃の会話の中で本人の思いを汲みとる	暮らしの中での丁寧な観察による意向の把握やアンケートが実施されています。なお、掌握された事項は詳細に記録されています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	自)努力している 実)ご家族や以前のサービス提供先、病院等から情報を収集している		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自)努力している 実)担当者による日常生活の様子をモニタリング。担当者会議等で話し合い。本人にモニタリング等。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	自)努力している 実)状況が変化し、ニーズとしてあがる度にDr.の診察結果やケアワーカーの意見を聞き、現状に即したプランに組み替えている	介護計画書とモニタリングによる計画の見直しの必要性を正しく理解され、関係者が相談し、現状に即した介護計画を作成されています。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	自)努力している 実)介護記録やモニタリングを参考にケアの状況を担当者会議で検討し、介護計画を見直す。定期的に又モニタリングし、会議で話し合う		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自)目標としては柔軟に対応したい 実)個々の通院介助をご家族の代理で行っている(D.r.との意見も含め)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自) 目標としてはそのような支援をしていきたい		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	自) 支援している 実) かかりつけ医は本人及び家族が選択。ホームの嘱託医とは職員が代理で立会い異変があればご家族に連絡	かかりつけ医は契約時に相談され、本人の希望を優先した対応がなされています。なお、受診に際しては、生活情報等の提供がなされ、適切な医療の確保に努められています。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	自) 看護職との協働はない 実) 直接D.r.に診察を受ける(往診、外来受診)		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	自) 努めている 実) 入院中の状況や退院に向けて等N.S.やD.r.と話し合う		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	自) 努めている 実) 重度化していく状態を観察D.r.と相談しながら出来るケアを行っている。(終末期についても同様に取り組む)	代表者や管理者は、終末期への対応には熱い思いがあり、入居時に家族等に方針の説明を行い、状態に変化が見られる場合は、その都度、関係者が相談しながら適切に対応されています。	職員には、会議や学習を通じて方針の理解と浸透に努められていますが、一層の共有化を図るために、文言化した指針の作成を期待します。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	自) 救急搬送に至るまでの応急手当は訓練が必要 実) 救急搬送は経験している者もあるが応急手当の実践力は身に付けていない		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自) 火災訓練は行ったが完璧ではない 実) 避難訓練を受けた者もあるがマニュアルの作成とそれに従い定期的に訓練が必要である	消火・避難訓練の実施やスプリンクラーの整備・緊急通報装置の設置等緊急時の安全確保への取り組みがなされています。	火災発生時は、入居者を安全・迅速に屋外へ誘導する事が求められます。この事から周辺住民の協力は不可欠と思料いたしますので、一層の協力体制の整備とマニュアルの作成を期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自) 努力している 実) 個々にあった言葉かけ、対応(食材の好み・調理工夫)をしている	尊厳の保持を基本に、一人ひとりに合わせた対応に努められています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自) 努力している 実) ご本人の思いを伺ったり、自己決定が出来るような環境づくり、言葉かけをしている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自) 努力している 実) おおよその日課プログラムがあり声かけはするが無理強いせず希望があればやっていただく		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自) 努力している 実) 好みの服や髪型、帽子等、身に着けていただけるよう自分で選んでいただく(介助)		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自) 実践している 実) 野菜の皮むき、裁断、配膳、お菓子づくり、たこ焼き作り等簡単な調理、片付け、下膳各々の力を活かせる環境作り、皆が参加できる環境づくりを行っている	調理の下準備や配膳等入居者の能力に応じて協働され、楽しい食事環境作りへの取り組みがなされています。なお、嗜好調査もなされ、献立に反映させる取り組みもなされています。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	自) 実践している 実) 食事量のチェック、栄養士がバランスを考えた調理食材の使用、水分補給の時間確保と量のチェックをしている。利用者一人ひとりの状態を見ながら支援を行っている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自) 実践している 実) 口腔ケアにて異常を発見したり、臭いが強い場合は受診にもお連れしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自)実践している 実)トイレ誘導の声かけ、排泄のサインやパターンをみおとさないよう一人ひとりに合わせた支援に努めている	排泄パターンの掌握・記録と行動観察によりトイレ誘導がなされ、自立排泄への支援がなされています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自)実践している 実)排便の確認や水分量の調節運動への働きかけ等個々の状態に合わせてケアをしている		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	自)努力している 実)入浴を拒まれる方もあり、清潔保持の為に声かけ、タイミングで入浴していただいている「ゆっくり入りたい 外出の都合に合わせて…」などにも対応している	基本的な入浴日や入浴時間帯の設定がありますが、本人の希望を優先した支援が図られています。	夜間入浴への支援体制の検討がなされていますので、実現を期待します。
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自)実践している 実)個々の状態に合わせた休息、安眠をとっていただけるよう生活パターンを把握し、身体状況に合わせた配慮もしている		
47		服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	自)実践している 実)内服薬の管理、症状の観察とD.r.への報告、相談等を行っている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自)実践している 実)個々がもっている能力を発揮したり楽しみごとが行えるよう機会を作り声かけ(介助等)を行っている		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	自)実践している 実)習い事や墓参り、外食等。家族の協力を得て、外出が出来るよう支援を行っている	周辺散歩の日常化や買い物、また、家族等の協力を得ながら外食・墓参り等外出機会の確保に努められています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自) 努めている 実) ご自身で出来る方には現金の使用と管理を任せている。管理や使用が困難な方は介助している		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自) 実践している 実) ご兄弟、家族にご自身で電話される、四季の挨拶の手紙を書かれる等の支援は行っている		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自) 実践している 実) 利用者の皆さんの手作りのカレンダーや、製作物を食堂、リビングに飾ったり窓からは畑が見下ろせるようになっている	室温や採光等に工夫され、また、清掃も行き届いた共用空間は清潔感があります。なお、入居者が作成した季節が感じられる作品が飾られ、潤いある環境に整えられています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自) 努めている 実) 個々に自分のスペースを自然に確保できるような環境作りを行っている		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自) 実践している 実) 入居の際、使い慣れた家具や思い出の物を持ってきていただけるよう声かけしている	使い慣れた家具や好みの品々が持ち込まれ、穏やかに過ごせる居室となっています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自) 実践している 実) 居室に名札、タンスには中身を記入したシールを張り、身体状況に合わせ手すりやポータブルを設置、安全に自立した生活が営めるよう配慮している		